

会 議 録

会 議 名	令和5年度 嵐山町総合戦略検証委員会					
開 催 日 時	令和5年11月27日（月）		開 会	14時00分		
			閉 会	15時30分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 議 題 (1) 嵐山町総合戦略の検証について (2) その他 5 閉 会					
公開・非公開 の別	公 開		傍聴者数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出	委 員	鈴木 弘之	出
	副会長	高坂 英夫	欠	委 員	須賀 雅之	出
	委 員	杉田 哲	出	委 員	奥田 貴哉	出
	委 員	米持 裕也	欠	委 員	青木 美恵子	出
	委 員	持田 知子	欠	委 員	中江 彩佳	欠
	委 員	谷口 直樹	出	委 員	平野 早恵	欠
	委 員	大井 達雄	欠	委 員	神田 香子	出
	委 員	田中 恵子	出	委 員	笠谷 芳子	出
	委 員	船戸 美津子	出	委 員	武城 文明	欠
	委 員	佐野島 敬史	出			
事 務 局	地域支援課長 安藤 浩敬					
	地域支援課主席主査 加藤 憲史		地域支援課主席主査 山口 綾子			

次 第	顛 末 (要点筆記)
1 開 会	安藤地域支援課長
2 あいさつ	権田会長
3 委員紹介	・各委員より自己紹介を行った。
4 議 題	<p>(1) 嵐山町総合戦略の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、令和4年度の実績値はコロナ禍を経て、各事業の再開等により、数値的に回復傾向にあるが、事業全体を通じた効果検証をお願いしたい旨の説明後、各章の基本目標ごとに KPI と効果や課題などについて説明する。 <p>○事前質問について紹介する。</p> <p>【事前質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の農業者人口が増えたのか。 →農業人口については減少している。 ・認定新規就農者の年齢層や収入はどのくらいか。 →新規就農者は20代と30代の女性2名で、一般的に新規就農者の所得目標として、経営開始から5年後に農業で生計が成り立つ所得（農業者年間所得450万円程度）の5割程度を目標としている。実際の収入については把握できないが、目標額としては200万円から250万円程度になると考えられる。 ・創業者の職種やその後の経過、町の対応・支援について →嵐山町販売促進支援金給付実施事業を活用し起業した創業者の内訳は、小売業が1名、美容業が2名の計3名である。現在も事業は継続中であり、嵐山町新規事業者支援金の支給や商工会を通じて広報での情報発信などの支援を実施している。 ・潜在的な働き方の確保について（若年層向けの働き方） →主には商工会との連携事業として近隣の高校や大学等に企業就職説明会の周知などを行っている。 ・比企地域全体での広報活動や情報発信など他の行政との連携について →近隣の9市町村で比企元気アップ事業を通じてイベント等を企画し実施している。令和4・5年度では高校生の就労支援として、地元企業の動画を作成し配信している。 ・結婚に対する施策について →町において結婚そのものに対する施策は実施していない。 ・住み良いと思うための指数について →総合振興計画策定時の住民意識調査の結果を指数として捉えてい

る。

- ・DX を利用しての地域の安全・安心のためのサービスについて
→人口減少社会において、自治体の職員数の減少が考えられる。今後、社会全体で人手不足が想定される中、デジタルを活用した住民サービスの提供は必要であるが、デジタル化することが目的ではなく、地域の課題解決のため手段として精査しながら取組んでいきたい。

【質 疑】

(谷口委員)

- ・町内総生産額や納税義務者数について前年度から実績値が増加している。目標値の達成も視野に、増加傾向にあるという認識で良いのか。
(事務局)

・あくまで統計上の数値なので分析が難しいが、町全体で検証値が大幅に減少していないため、景気に左右されず順調な状況であると考えている。ただ、納税義務者数については、人口や生産年齢人口の減少にもかかわらず、増加している。要因として外国人世帯の増加、世帯分離などが考えられるため、安易に順調に推移しているとは言えない。

(杉田委員)

・現在、南部地域の田畑を大規模に耕作しているのは、3件の酪農家と数件の生産者であるが、長期的に耕作を継続していくのは厳しい。近年、(株)太陽グリーンエナジー社の参入があったが、今後より多くの企業や農業法人、新規就農者の参入を推進していかないと成り立たない。町でも再度、新規就農者の育成を検討してほしい。

(事務局)

・北部地域にあるような農業法人の設立については、大規模な生産者が多い南部地域では難しいのではないかと。(株)太陽グリーンエナジー社のような優良企業の誘致のほうが現実的であると思う。新規就農者については、存続できない場合、残された農地の管理が問題となる。その問題をクリアできれば新規就農者の参入障壁が低くなるのではないかと。

(田中委員)

・嵐山幼稚園では、民間企業や町の施設と連携してさまざまな事業を実施している。この委員会では、それぞれの委員の立場で町の施策や教育行政に対して、現状で可能な助言・支援などを話し合えると大変有意義であると思う。

(船戸委員)

・町で起業する若者に対する支援を推進してもらいたい。また、ラベンダー園についても関心は高く、さらに盛り上がりを見せてほしいと思う。

(権田会長)

- ・ラベンダー園の維持管理については現状どうなっているのか。

(事務局)

- ・今年の「ラベンダーまつり」の収支については黒字であったが、人件費を含め、ラベンダー園の維持管理については赤字である。今後、年間を通じた花々やイベント等を増やしていくことで黒字経営につながる可能性はあるのではないか。

(佐野島委員)

- ・杉山城の活用については「杉山城跡保存活用計画」の策定が必要とのことだが、現在どのくらい進んでいるのか。

(事務局)

- ・計画は今年度策定中であり、今後、国指定文化財である杉山城跡の保全を図りながら、企業版ふるさと納税などの支援も検討し活用を図っていきたい。

(鈴木委員)

- ・四季折々の自然の魅力を活かして、コロナ禍を経てイベントなどを再開していくことも町の活性化に向けて有効ではないか。農協としては農業生産者が減少していく中、子ども達の農業体験などのチャレンジ授業などを実施している。今後も町の施策の支援をしていきたい。

(須賀委員)

- ・ハローワークとしては企業説明会やマッチング支援事業などを実施している。企業誘致などに関連した地元の雇用を創出する支援などもぜひご相談いただきたい。

(奥田委員)

- ・観光事業の集客については、比企地域全体での広報が必要ではないか。とくに、関越自動車道沿線のPRは有効的だと思う。また、農業は理想と現実のギャップがあり、農業で生計を立てられるかどうかの判断が難しい。とくに新規で農業を始めたい若者には、ある程度、収入面で具体例などを示さないと厳しいのではないか。

(神田委員)

- ・公園の遊具について、老朽化により撤去されているが、町では子ども達が遊ぶ公園が少ない。撤去するだけでなく、新たに遊具を設置し子ども達が遊べるような公園を整備する予定があるのか。

(事務局)

- ・老朽化した公園の遊具については事故につながる危険性から撤去する方向にある。拠点となる公園に集中的に大型遊具を設置する等、草刈などの維持管理を含めて総合的に検討する必要があると思う。

	<p>(笠谷委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅西口のロータリーの整備が進められているが、駅前通りの店舗も少なく寂しく感じる。空き店舗などを活用し活性化を図っていく予定はあるのか。 ・ ラベンダー園については四季折々の花々を感じられるような活用を図っていくほうがいいのではないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステーションプラザ嵐なびや駅西口のロータリーなど、長年のインフラ整備が進んでいる。今後は駅周辺の賑わいづくりが課題であるが、エリアリノベーション支援事業を通じて空き店舗の活用など、継続的なエリアリノベーションを進めるための支援を行っていききたい。 ・ ラベンダーは切り花やオイルなど加工品としても販売できるので、順調に運営管理していけば経済的に収益可能な花であると思う。もし、他の花を植えるのであれば加工できるような花が望ましいと思う。 <p>(杉田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前通りでは、リノベーションした店舗でカフェをオープンするなど新しい動きが見られる。今後、商工会などと連携して、駅前で農作物を販売する軽トラ市など新たなイベントを計画したいと聞いている。 ・ 菜の花は油が採れるので加工に向いているのではないか。ラベンダーは加工できる花で、現在、苗を作る生産者が少ないので、今後生産者を増やしていければ良いと思う。 <p>(青木委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嵐山の良さは農業や景観であり、最近は散策目的の来訪者が多いように感じるが、残念ながら駅前が閑散としている。また、工事前は放置自転車が散乱している状況であったが、整備後はどうなるのか。さらに、交通面では、主に東武東上線の電車の本数が減り不便さを感じている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備後の駅西口には有料の自転車置き場が設置されると聞いている。 ・ 東武東上線の路線数の減少については不便さを感じているが、観光事業などを中心に人の流れをつくり、入込観光客数が増加することで、鉄道事業者へ改善について要望できる可能性が考えられる。 <p>(2) その他 特になし</p>
5 閉 会	安藤地域支援課長